

平成22年度 第1期

事業報告書

自 平成22年7月 1日

至 平成23年3月31日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

黒住医学研究振興財団は、平成22年6月18日に内閣府より公益財団法人の認定を受けて、定款に従い下記に述べたような各事業を遂行した。

公益認定を受けての初年度は、平成22年7月1日より平成23年3月31日までであり、第1期として9ヶ月間の事業運営を行なった。

今年度は、理事会を、7月30日、9月3日、9月16日、1月14日、2月25日、3月18日の計6回、評議員会を、7月30日、3月18日の計2回開催した。

各理事会・評議員会における主要な議題と決議は次の通りである。

【理事会】

第1回理事会（7月30日）出席者 理事13名 監事1名

1. 定款の変更
2. 平成22年度(4～6月)の事業報告・決算報告の承認
3. 平成22年度(7～H23.3月)の事業計画案・収支予算案の承認
4. 第46回小島三郎記念文化賞の予備選考
5. 第18回研究助成金に係る審査委員及び選考委員の確認

第2回理事会（9月3日）出席者 理事11名 監事2名

第46回小島三郎記念文化賞の決定

第3回理事会（9月16日）出席者 理事11名 監事2名

第18回研究助成金の決定

第4回理事会（1月14日）出席者 理事12名 監事2名

1. 平成23年度における会議及び事業計画の策定
2. 贈呈式における特別講演者の選定

第5回理事会（2月25日）出席者 理事12名 監事2名

1. 第30回福見秀雄賞の決定
2. 第46回小島三郎記念技術賞の予備選考
3. 平成23年度事業計画案・収支予算案の承認

第6回理事会（3月18日）出席者 理事12名 監事2名

第46回小島三郎記念技術賞の決定

【評議員会】

第1回評議員会（7月30日）出席者 評議員8名 理事10名 監事1名

1. 評議員長選出の件
2. 評議員交代の件
3. 定款の変更
4. 平成22年度(4～6月)の事業報告・決算報告の承認
5. 平成22年度(7～H23.3月)の事業計画案・収支予算案の承認

第2回評議員会（3月18日）出席者 評議員9名 理事2名 監事2名

平成23年度事業計画案・収支予算案の承認

各事業の詳細は次の通りである。

I. 研究助成事業

当財団定款第4条第1項第1号に規定される研究助成事業は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査ならびに研究の領域でより優れた学術研究・業績テーマに対して助成するものである。

研究助成の対象は、医学関連の大学、教育機関、研究所、及び医療機関等において、当該事業の目的に従事している者から応募申請を募り、申請者を各専門分野の審査委員が採点した後、選考委員会で慎重に審議して研究助成の対象者を決定するものである。

当該事業は、平成5年度から開始しており、今年度の研究助成金選考委員会は、第18回目に当たり9月16日に開催し同日行なわれた理事会において受贈者と金額を決定した。申請数は158件で、そのうち13件（13名）に研究助成金を贈呈することとした。

なお、贈呈式は平成22年10月22日東京會館にて行なわれた。
対象者の氏名、研究課題は次のとおりである。

【研究助成金の受贈者 第18回】

いくた かずふみ

1. 生田 和史

(所属機関) 福島県立医科大学医学部微生物学講座 助教 生命科学博士
(研究課題) 「検体中サイトメガロウイルスの定量的な型判別検査法の開発」
(助成金額) 80万円

いよだ すなお

2. 伊豫田 淳

(所属機関) 国立感染症研究所細菌第一部 主任研究官 学術博士
(研究課題) 「高病原性腸管出血性大腸菌 O157:H7 系統株の検出と病原性評価システムの構築に関する研究」
(助成金額) 80万円

うえだ みつはる

3. 植田 光晴

(所属機関) 熊本大学大学院生命科学研究部病態情報解析学分野（臨床検査医学）助教 医学博士
(研究課題) 「高齢者における心アミロイドーシスの実態解明」
(助成金額) 80万円

うちうみ たけし

4. 内海 健

(所属機関) 九州大学大学院医学研究院臨床検査医学 准教授 医学博士
(研究課題) 「ミトコンドリア蛋白 p32 の前立腺癌における機能解析、予後マーカーとしての意義」
(助成金額) 80万円

かねこ まこと

5. 金子 誠

(所属機関) 東京大学医学部附属病院検査部 助教 医学博士
(研究課題) 「血餅退縮能を用いた血液凝固第XIII因子活性の迅速簡易測定法の開発と臨床応用」
(助成金額) 80万円

くぼ とおる

6. 久保 亨

(所属機関) 長崎大学熱帯医学研究所ウイルス学分野 助教 医学博士 (PhD)
(研究課題) 「エンテロウイルス 71 に対する RT-LAMP 法を用いた迅速診断系の開発とその臨床応用に関する研究」
(助成金額) 80万円

- ささだ てつろう
7. 笹田 哲朗
(所属機関) 久留米大学医学部医学科免疫・免疫治療学講座 准教授 医学博士
(研究課題) 「癌ワクチン療法患者の予後予測に有用な新しいバイオマーカーの開発」
(助成金額) 70 万円
- さとう やすのり
8. 佐藤 保則
(所属機関) 金沢大学医薬保健研究域形態機能病理学 講師 医学博士
(研究課題) 「胆道癌の早期診断マーカーとしての heat shock protein(HSP)の有用性」
(助成金額) 80 万円
- にしやま ひろゆき
9. 西山 博之
(所属機関) 京都大学大学院医学研究科外科系器官外科学講座泌尿器科学分野 准教授
医学博士
(研究課題) 「新規のケモカイン受容体 CXCR4 アンタゴニストを用いた高悪性膀胱癌
の早期診断と膀胱内再発予防戦略」
(助成金額) 80 万円
- まつしま あき
10. 松島 晶
(所属機関) 京都大学医学部附属病院検査部感染制御部 助教 医学博士 理学博士
(研究課題) 「京都地区におけるバンコマイシン耐性腸球菌の伝播拡散に関する疫学調査」
(助成金額) 80 万円
- みしま せいじ
11. 三島 清司
(所属機関) 島根大学医学部附属病院検査部 副臨床検査技師長 医学博士
(研究課題) 「多焦点バーチャルスライドの血液形態精度管理への応用とその有用性の検討」
(助成金額) 70 万円
- やの ひさかず
12. 矢野 寿一
(所属機関) 東北大学大学院医学系研究科臨床微生物解析治療学 講師 医学博士
(研究課題) 「染色体性 AmpC 産生グラム陰性桿菌における基質特異性拡張型 β -ラクタマ
ーゼ産生株の新規検出システムの開発」
(助成金額) 70 万円
- よしだ ともみ
13. 吉田 朋美
(所属機関) 群馬大学医学部保健学科検査技術科学専攻応用検査学 助教 医学博士
(研究課題) 「HPV と子宮頸癌の多角的データ解析 ～若年者への改革的試み～」
(助成金額) 80 万円

計 13名 研究助成金総額 1,010 万円

II. 顕彰事業

当財団の定款第4条第1項第2号及び第3号に規定されている顕彰事業は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する優れた研究成果に対する顕彰で「小島三郎記念文化賞」と呼称し、他に臨床検査技師及び衛生検査技師等において優れた検査方法、術式の開発に成果を収めた者と当該分野における人材の育成に優れた成果を収めた者に対する顕彰で、これには「小島三郎記念技術賞」と「福見秀雄賞」があり、各賞とも毎年1回贈呈している。

①. 小島三郎記念文化賞 第46回

小島三郎記念文化賞は、病原微生物学、感染症学、公衆衛生学その他これらに関連した領域において、学問的に顕著な業績で、しかも我が国の文化に貢献したと思われる研究に対して、贈呈するものである。

同賞の候補対象者については、大学の衛生学、公衆衛生学、微生物学、寄生虫学、感染症学、病理学、免疫血清学の教授、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、小島三郎記念文化賞受賞者等から該当者の推薦を得た候補者について、推薦理由、研究歴、発表論文等を選考委員会で各分野の審査委員が各候補者の業績コメントを述べ、慎重に審査したうえで、優秀な業績のあった者に贈呈を決定するものである。

当該事業は、昭和40年から開始しており、今年度の小島三郎記念文化賞選考委員会は、第46回に当たり9月3日に開催し同日行なわれた理事会において受賞者を決定した。

平成22年度における第46回小島三郎記念文化賞の候補対象者5名のうちから1名を決定したもので、この贈呈者の氏名、所属及び業績は次のとおりである。

なお、同賞の贈呈式は平成22年10月22日、東京會館にて行なわれた。

(氏名)	(所属機関)
ふじた たかし 藤田 尚志 業績の題目	京都大学 ウイルス研究所 教授 理学博士 「細胞質ウイルスセンサーRIG-Iファミリーの発見」

②. 小島三郎記念技術賞 第46回

小島三郎記念技術賞は、臨床検査ならびに衛生検査領域において、優れた検査方法、術式の考案改良を行い、また、検査技術の普及発展に功績のあった技術者に贈呈するものである。

贈呈する対象は、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、各都道府県臨床検査技師会会長、検疫所長、大学病院中検部長、小島三郎記念技術賞受賞者等から該当者の推薦を得た候補者について、推薦理由、研究歴、ならびに論文等を各専門分野の審査委員が採点した後、選考委員会で慎重に審査した上で、優秀な業績のあった者に贈呈を決定するものである。

当該事業は、昭和41年から開始しており、平成23年度における第46回小島三郎記念技術賞の推薦の受付は、平成22年12月より平成23年2月15日まで行い、その後同選考委員会を3月18日開催し同日行なわれた理事会において候補対象者19名のうちから贈呈者5名を決定した。

なお、同賞の贈呈式は平成23年5月20日、東京會館にて開催の予定である。

(氏名)	(所属機関)
おかだ しげはる 岡田 茂治 業績の題目	(埼玉県立がんセンター 検査技術部 副技師長) 「便へモグロビン検査における コントロールサーベイ試料の開発とサーベイ評価法の確立」
すがい さちこ 須貝 幸子 業績の題目	(公益財団法人 がん研有明病院 遺伝子診断部 臨床検査技師) 「固形腫瘍の遺伝子検査開発・臨床応用および遺伝子検査技術の普及」
ふじた かずひろ 藤田 和博 業績の題目	(新渡戸文化短期大学 臨床検査学科 准教授 医学博士) 「血液腫瘍における分子細胞遺伝学的解析方法の確立と教育・啓発の推進」
ふじわら こうき	

藤原 孝記 (帝京大学医学部附属病院 輸血・細胞治療センター 臨床検査技師 保健学博士)
業績の題目 「蛍光ビーズを用いた免疫複合体検出による抗体解析法の開発と
高感度ヒト組織適合性抗原交差適合試験法への応用」

やまざき ひろかず

山崎 浩和 (山梨大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師)
業績の題目 「血清 ALP アイソザイム自動活性定量法の開発と
病態解析への応用ならびに国際標準化法の普及啓発」

③. 福見秀雄賞 第30回

福見秀雄賞は、臨床検査ならびに衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発、向上に努力し、かつ後進の指導育成に貢献あった者に贈呈するものである。

贈呈する対象は、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、各都道府県臨床衛生検査技師会長、検疫所長、大学病院中検部長、小島三郎記念技術賞受賞者、福見秀雄賞受賞者等から該当者の推薦を得た候補者について、推薦理由、職歴、ならびに論文等の概略を確認し選考委員会で慎重に審査した上で、優秀な業績のあった者に贈呈を決定するものである。

当該事業は、昭和55年から開始しており、平成23年度における第30回福見秀雄賞の推薦の受付は、平成22年12月より平成23年2月15日まで行い、その後同選考委員会を2月25日開催し同日行なわれた理事会において候補対象者13名のうちから贈呈者5名を決定した。なお、同賞の贈呈式は平成23年5月20日、小島三郎記念技術賞の贈呈と併せて行なう予定である。

(氏名) (所属機関)

あまがいはつお

天谷 初夫 (前 群馬大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師長
前 群馬大学医学部 保健学科 臨床教授)

かじろ かずまさ

神白 和正 (前 都立駒込病院 臨床検査科 統括技師長
現 東京都保健医療公社 東部地域病院 検査科 技師長)

くまがいとしこ

熊谷 俊子 (信州大学医学部附属病院 臨床検査部 前 技師長 医学博士)

しもせ よういち

下瀬 洋一 (前 松江赤十字病院 検査技師長)

たかばたけ とみこ

高島外美子 (公立松任石川中央病院 総合医療対策室長)

III. 学術講演会

平成22年度は、5月28日に野口英世記念会館にて「第45回小島三郎記念技術賞ならびに第29回福見秀雄賞」贈呈式の特別講演として、国立病院機構 三重病院 名誉院長で三重県予防接種センター長の神谷 齊先生に「臨床医からみた日本のワクチンの現状と今後への期待」と題してご講演いただいた。

平成23年度は、5月20日に東京會館にて「第46回小島三郎記念技術賞ならびに第30回福見秀雄賞」贈呈式の特別講演として、当財団理事で東海大学医学部 基盤診療学系臨床検査学 教授の宮地 勇人先生に「遺伝子関連検査の標準化と展望」と題してご講演いただく予定である。

IV. 公益財団法人登記後の対応

公益法人制度の改正に伴う、新公益財団法人への移行認定登記を平成22年7月1日に完了し、事業計画書等に係る提出書(1. 事業計画書、2. 収支予算書、3. 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類、4. 1から3までに掲げる書類について理事会、評議員会の承認を受けたことを証する書類)を内閣府へ提出した。

以上